ジェフ・ベゾス（アマゾンCEO）が語る「気が変わる、変わりやすい事、柔軟な人」が成功しやすい理由

「偉大なリーダー達は、多くの正しい決断をしている。そして、正しい決断を下すためには、人の話をよく聞いたり、リーダー自身が持つ意見が覆えるような、情報を探す事が重要になる。その結果、気が変わる事（意見が変わる）はよくある話で、気が変わる事は何にも悪い事ではない」

人間は一貫性（コミットメント）を好む生物です。「武士に二言はない」と言うように、一貫した、変わる事の無い言動を自分自身や他人に求めがちです。その起源は進化論にあり、一貫性のある人間は気が変わる、言い換えるならば「裏切る」と言う確率が低くなるわけで、周りから信頼されやすい性質の一つであったわけです。言わずもがな、周りと協力した結果、多くの人類は生き延びたわけですから、一貫性とは大事な性質であったのです。

しかし、変わり映えの無かった原始時代とは違って、今は多くの物事や事実が素早く変化する時代です。何故なら、人類は発展し、今や国や人や経済やビジネスやテクノロジーと、あらゆる複雑なシステムの上に人は立っているのです。そして、複雑であるからこそ「正しい」と思っていた事が「実は違っていた！」となる事も多くあるのです。

よく組織の人間の文句で聞きませんか？

「前はああ言ってたのに、今は違う事言ってるよ」「振り回されるこっちの身になってくれよ」「すぐに意見変わるから、もうやってらんねーよ」

進化論を提唱したチャールズ・ダーウィンの言葉にあるのが「生き残るのは、強い者でも頭が良い者でもない。環境に適応した者だ」

複雑で目まぐるしく変わる環境下で、組織の人間として、リーダーとして持っていると役に立つ言わばスキルと言うのが、環境に適応する力、柔軟である事、「気が変わった」と言える事。上司の右往左往を「変わりやすい秋の空模様」のように仕方が無い事と捉えて、文句を言わずに、適応する事が大事になってくるかもしれません…